

新風

諸塚村立諸塚中学校

令和5年度学校通信 No,8 文責 岡崎裕也



1月1日に発生した能登半島地震により、被災された方々と、親戚、関係者等が現地にいらっしゃる村内の方々に、お見舞いを申し上げます。

【三学期スタートしました！】

1月8日(月)、大清掃の後に始業式を行い、生徒代表発表、学校長の言葉、各担当からの話で終わりました。全国的には、大変な始まりとなりましたが、とにかく2024年が始まりました。どのような状況にあっても、時間はみんなに平等に流れます。自分自身の生活をしっかり見つけ、新年のタイミングで、前を向きどう生きるかを見据えながら、今を大切に過ごして行くことが大切です。3年生は、1月から開始されている高校入試に向け、殆どの学校で実施される面接練習に臨みました。特に今年は、学校運営協議会委員の皆さんにも面接官としてお手伝いいただきました。いよいよ「十五の春」実現に向けてのチャレンジです。



【まだまだ気が抜けません。】

報道されているように、インフルエンザ、コロナ感染は、未だ増加傾向にあり、なかなか油断できない状況です。本校でも殆どの生徒がマスクを着用している状況があります。そのような中、1月19日(金)、『洋服の青山日向店』様より、多数のマスクを寄贈いただきました。大変上質なマスクをいただき、特に、今から受験に臨む生徒が多い3年生にとっては、ありがたい贈り物となりました。多くの支援に支えられ、後少しの本年度、全員元気に乗り越えたいものです。青山日向店の皆様、ありがとうございました！



【良き生徒であるか？】

哲学者で武道家の内田 樹(たつる)によれば、ものを学ぶ上で重要な要素が三つあるそうです。

第一は、「自分の無知、無能を自覚」

第二は、「師に出会う力」

第三は、「師に教える気にさせること」

私たち教師が、生徒全員を公平に扱うよう心掛けている事は、当然のことではあります。しかし、考えてみれば、自発的、積極的な姿勢を見せる生徒に、まずしっかり応えようとする事も事実です。つまり、教師からどれだけ多くを学べるかは、生徒の情熱次第である部分も大きいということです。教育とは一方的に知識や技術を受け取ることはありません。「あなたに教えるのは楽しい、今、私にとって授業は有意義な時間だ。」という情熱を生徒側が伝えれば、自然と得るものも変わってくるのではないのでしょうか？

良き教師とは、生徒の才能を伸ばし、育てます。ならば、生徒も「良き生徒」となり、教師の意欲を引き出せるようになりたいものです。

【防災の意識新たに！】

1月28日(月)、防災訓練を実施しました。今回は火災想定での訓練でした。校内放送での火災発生と避難指示を受け、生徒はグラウンドに避難しました。その後、村役場の担当の方からの講話と、消火作業、消防車見学という内容でした。

災害は、我々の都合などお構いなしに発生し防ぐことは不可能です。ならば、「減災」をいつも意識して、いざ、という時に、一番大切な自分自身の「命」を守ることができるよう、これからは訓練を続けていきます。



